



【指定職】

一般職の公務員の内、その役職の職務と責任が特に高度であり、かつ、一般職員に適用される扶養手当や住居手当といった属人的な給与がなじまない職をいい、一般職公務員の中でも最高幹部とされ、民間企業でいう役員に相当する。

なお、指定職は一般職であるため、その給料額は東京都人事委員会勧告による官民較差により給与改定が実施される。平成12年度に比べると、平均給与は△3.9%、最高額は△10.9%、最低額は△11.0%の減となっている。

【参考】

○主な職名：事務次官、官房長、局長、大学の学長、病院長 等

○東京都指定職：局長、消防総監、本部長、理事、技監、病院長 等

資料 3